

令和6年度 第1回 大府市生涯学習審議会議事概要

日 時 令和6年5月21日(火) 午前10時00分から午前11時05分まで
場 所 大府市役所2階203・204会議室
出席委員 会長 池田逸夫、副会長 池田美代子
澤田まなみ、相羽誠二、神田由美、館内三郎、石黒公子、大橋房代、
山本友和、井上啓子
欠席委員 深谷愛
事務局 副市長 山口智絵子
市民協働部長 近藤真一
協働推進課長 奥村喜美子、協働推進課担当課長 竹田守孝
協働推進生涯学習係長 平松雅也、協働推進生涯学習係主任 佐々木宏孝
欠席者 教育長 松山靖
傍聴者 なし

1 副市長あいさつ

本日は大変お忙しい中、本年度第1回となる大府市生涯学習審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より生涯学習行政にご理解、ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、本日の審議会でございますが、生涯を通じた学びの場や機会の拡充など、本市における生涯学習の総合的な推進を図るために設置されております。昨年度から引き続きご尽力いただいている9名の委員の方々に加え、本年度は新たに2名の委員をお迎えすることができました。委員の皆様には、公民館を中心とした生涯学習の推進のため、それぞれのお立場からご意見を賜れば幸いです。

なお、本日は生涯学習事業に関する議題に加え、地域住民の生活文化の向上や相互交流を図るために設置されているいきいきプラザに関する議題もございます。ご審議のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2 会長あいさつ

木々の緑が深い色に染まり、過ごしやすい季節になりました。市では、この4月から体制が変わっておりまして、市長は3期目を迎えられ、新たに山口副市長、松山教育長がご就任されました。このような新しい体制のもと、生涯学習がさらに推進され、市民の皆様の笑顔が増えることを願っております。

また、本審議会においても、本年度新たに2名の委員をお迎えすることができましたので、よろしくお願いいたします。本日は本年度第1回目の審議会ということで、いくつかの議題が挙げられておりますので、どうぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

3 委嘱状の交付
机上にて配布

4 大府市生涯学習審議会について（資料No.1）
事務局：資料No.1に基づいて説明
（質問、意見等なし）

5 議題

(1) 令和5年度生涯学習事業実績について（資料No.2）

事務局：資料No.2に基づいて説明

（委員）公民館の講座の実績について、一部の講座が中止になっているが、主にどのような理由で中止になるのか。

（事務局）主な中止の原因として、それぞれの講座については、ほとんどが前年度に講師と調整し、どの時期にどんな講座を開催するかを事前に打ち合わせして準備を進めている。しかし、実際に開催時期が近づくと、講師の都合がつかなくなるケースや、講師の体調不良や急な予定変更などにより調整ができず、講座が中止になることがある。また、募集をかけた際に受講者が集まらないことも原因の一つであり、公民館では広報活動やウェブサイト、チラシの配布、ポスターの掲示などで人を集める工夫をしているが、どうしても参加者が集まらず、開催に必要な最少人数に達しない場合もある。

（委員）開催に必要な最少人数は、どのように決まっているか。

（事務局）事前の調整の中で講師と決めている場合が多い。

（委員）例えばものづくりのような講座の場合、講師は事前に材料を用意すると思うが、もし開催されない場合、その材料費についてはどのように対応しているのか。また、申し込みをした方が当日キャンセルする場合もあると思うが、材料費はどのタイミングで徴収しているのか。

（事務局）講座はあらかじめ参加の申し込み期限を設けており、開催か中止かが決まるまでは材料の準備は始めないように調整する場合が多い。また、材料費の徴収については、事前に材料費を徴収する場合もあれば、わずかな材料費で済む場合は、当日集金する場合もある。なお、事前に材料費を徴収して、当日キャンセルとなった参加者がいた場合、講師が欠席者の代わりに物を作製し、後日お渡しすることもある。

（委員）おやじの学び舎の参加者の年代別の内訳がわかれば教えてほしい。

（事務局）昨年度の受講者は49人で、62歳から84歳までの方が参加していた。年代別の集計はしていないためこの場での回答はできないが、平均で70歳ほどであった。なお、先日今年度のおやじの学び舎の入校式を開催したが、55歳の方が参加していた。

（委員）学習相談というのは、具体的にどのような内容の相談が寄せられるのか。

(事務局) 主に、団体や個人から、公民館の部屋を使用したいという内容の相談が多い。

(委員) 資料に記載のある公民館の図書室の利用者数については、机で勉強する以外の人も含めて集計しているか。

(事務局) 机を使用していない、例えば選書をしている人等も含めて集計している数である。

(委員) ながラボの講座について、自身も博士のポケットに関する講座の講師を務めた。講座はこどもを対象としていたが、周知が不十分だったことに加え、中学生は試験期間中で参加が難しく、また運動会等の学校行事が重なる等、参加が難しい状況であった。そのため、参加者には大人の方々もおり、私としてはこども向けに準備していたということから、対象が変わることで話しやすさに違いが出てきた面もあった。こどもに伝えるという点においては、学校での授業の一環として、こどもたちに直接話をする機会があると良いと思う。なお、永田雅宜先生に関しては、中学校の道徳の題材として取り入れられていると聞いているので、これらの情報を参考に、今後の取り組みを進めていきたいと考えている。

(委員) 現在の学校は授業数が非常に多く、こどもたちが教科書に載っていない学びを経験する機会が減っていると感じている。本来ならば、教科書に載っていない学びから多くの経験を積むことが望ましいが、現在のカリキュラム的には非常に厳しい状況である。何年か後には中学校の部活動も地域移行すると思うので、その際はぜひ山本委員のような方に、数学を学ぶ部活動を立ち上げていただきたいと思う。運動部には興味がないが、文化部にも自分の興味に合った部活動がないために帰宅部になっている生徒もいると思う。小学生でも円周率を 20 桁くらいまで覚えられる子のように、数字に強い興味を持つ子がいるので、もし数学部のような部活動があれば、興味を持つ生徒が多いと思う。学校にこのような内容の部活動を求めるのは難しいかもしれないが、地域でそういう場があると、中学生が「ちょっとやってみようかな」と思うきっかけになるだろうし、大府市の独自性も出すことができるので、良い取り組みになるかなと思う。

(委員) 様々な事業を実施していることは本当に素晴らしいことだと思う。しかし、講座の開催実績を見ると、開催に必要な定員に達していないものも多く見受けられる。これに関しては、その地域や市民のニーズに合っているかどうかを見直す必要があると思う。ただし、講座の内容が文化的、福祉的、地域性を持つものに関しては、大府市全体の文化的な発展を目指すために、開催に必要な定員に達していない場合であっても、総合的な判断の下で開催していただければ良いのかなと思う。

(事務局) 人気のある講座はそれぞれの公民館によって異なり、毎年度すぐに定員が埋まる講座もあるが、各公民館が抱えている課題や地域性等により、人気がない講座も存在する。人気がない講座についても、地域課題等から開催

の必要性を感じ、実施しなければならないという認識のもとで進めているが、参加者が少ない場合、様々な都合上中止となることもある。今後は、開催に必要な定員の最少人数という点についても検討していきたい。

(委員) 経済的に余裕のあるこどもは様々な講座を受けることができる一方で、経済的に恵まれないこどもは十分な経験を積むことができずに大人になることもある。そのような状況の中、例えば市が実施している良い音楽を学校で聴くことができるような取り組みは、こどもたちの豊かな人生に大きな助けとなると思っている。しかし、現在の学校のカリキュラムは余裕がないため、大きな意義があると感じていながらも、学校でこのような取り組みを行うことには、時間的な部分での葛藤がある。また、公民館で行っている様々な活動には、休日に習い事をしているこどもたちはなかなか参加できない現状もあるが、こどもたちが自分の関わったことで成長し、記憶に残る体験をすることは、生涯学習として人生の大きなきっかけになることがあるので、講座を企画する際には、こどもの意見を反映していただくと、こどもたちにとっても良いことなのかなと思う。

(事務局) こども向けの講座の場合は、一般の講座と違ってアンケートは取っていないため、意見が記録としてはあまり残らないというのが現状であるが、こどもを対象とした、例えば料理講座のようなものであれば、職員と一緒に参加するケースが多く、講座の中で挙がったこどもの意見を、次回の講座に反映させるといったことは行っている。

(委員) 文化協会には様々な文化団体が所属しており、文化活動に関する講座を毎年度開催している。これにより、一般の方が色々な趣味の入門講座に参加できるようにしており、できるだけ多くの方に自分の趣味の範囲を広げてもらうことを目指している。他の団体の皆さんにも、このような活動を広げていただければと思っている。また、現在教育委員会では部活動の民間化を検討しているため、それに併せて文化活動をどのように展開していくかを考えており、中学生が参加できるような仕組みも検討中である。

(委員) 愛知用水に関する工事や管理について携わっているが、その際に、高齢者がパソコンを使いこなせるようになれば、もっと業務の効率化が図れると感じている。例えば配管の交換工事についても工期が1年から3年に伸びているが、これは最新と古い配管データが混在しており、現場でどの配管なのかわからなくなっているためである。このようなデータ管理についての効率化やコスト削減にも繋がるため、パソコンを活用した新しい技術の導入を考えているが、パソコンに馴染みのない高齢者が多いため、最大限活用できるかどうかは難しく思っている。普段パソコンを使用せず、慣れていない高齢者の方は多いと思うので、パソコンの使い方についての講座を公民館で開催していただくと有難く思う。

(事務局) 現在、ニーズが高まっているスマホの使い方についての講座は毎年度開催している。今後、パソコンの利用ニーズが高まれば、それについても開

催を検討していきたい。

(2) 令和6年度に実施する主な生涯学習事業について（資料No.3）

事務局：資料No.3に基づいて説明

（質問、意見等なし）

(3) いきいきプラザ個人利用制度導入の検討について（資料No.4）

事務局：資料No.4に基づいて説明

（質問、意見等なし）

6 報告事項

令和6年度生涯学習審議会に関わる行事予定について（資料No.5）

事務局：資料No.5に基づいて説明

（質問、意見等なし）

7 市民協働部長あいさつ

皆様、長時間にわたりご審議いただきまして、誠にありがとうございました。本日の議題は3点ございましたが、特に1点目の生涯学習事業の実績については、公民館で開催されている講座に関して貴重なご意見をたくさんいただき、感謝申し上げます。講座の定員未達の場合の対応や当日のキャンセルの扱いなどについて、様々なご意見をいただきましたので、今後の開催に向けて検討してまいりたいと思います。

また、永田雅宜先生に関する講座については、実施時期も含めて検討してまいりますので、委員の皆様、どうぞよろしく願いいたします。さらに、いきいきプラザの個人利用制度導入につきましては、特にご意見はございませんでしたが、新たな活用方法を考えておりますので、施設の有効活用についてご理解いただければ幸いです。

委員の皆様には、今後も生涯学習事業に関連する多くのご意見をいただきたいと思いますので、次回以降もご意見賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

【次回予定】

第2回大府市生涯学習審議会 令和6年8月21日（水）午前10時から

大府市役所 2階203・204会議室にて